



このコーナーでは、
県内の著名人がおすすめする児童書の魅力を、
直筆の推薦文とともに
紹介します。



大きな森の小さな家

西部開拓時代のアメリカのとある町にある
大きな森。その大きな森にある小さな家に
住むローラという女の子の1年間の物語。
大自然の中で生きる人々の力強さと知恵
には驚かされます。想像力を極き立てられ、
わくわくがたぐさん詰まった物語!!

小学生に
なったらぜひ!!



『大きな森の小さな家』
作/ローラ・インガルス・ワイルダー
訳/恩地 三保子
画/ガース・ウィリアムズ
福音館書店

1870年代、北アメリカがまだ開かれていなかったころ、大森林と大草原での厳しい開拓生活の中で成長していった、少女ローラとその家族の物語。自然の脅威にいつもおびやかされながら、ローラたち一家は自分たちの手で丸太を組み家を建て、パンやバターやチーズを作り、生活を築き上げていきます。ローラが5歳から6歳までの1年間の大きな森での生活が、何もかもが初めてで好奇心いっぱいのローラの目を通して、生き生きと語られます。

おばさんのごちそう 1,2,3歳からぜひ!!

今日はどんなごちそうが食べられるのかな?
ワクワク、ドキドキ... え~!? あれれ?
「あれれ?」の連続が面白くて、子供と
一緒に大はしゃぎ!!
世界一のお料理名人なおばさんの
秘密は...? 絵本がきっと好きになる1冊。



『おばさんのごちそう』
作・画/五味太郎
絵本館

料理名人のおばさんに招待された2人の子ども。いったいどんな料理がでくるのかな? 絵本ならではの料理に、びっくりの秘密がいっぱい。登場人物の服とセリフの色にも注目です。

よもぎだんご 幼・小(低学年)の方へぜひ

元気いっぱい、おなじみ「ばばばあちゃん」が、今度はよもぎだんごを作ります。
春の野原には食べられる野草がいっぱい!!
読んだ後はきっと、外に出て探してみたく
なるはず!!

我が家でも「ばばばあちゃん」の教えに従って「よもぎ」を探してお団子作りしましたよ



『よもぎだんご』
作/さとうわきこ
福音館書店

春に咲く野草、よもぎ、なずな、つくし、せりなどが、どんな場所に生息しているのか、どうやって見つけるのか、ばばばあちゃんが教えてくれます。そうしてとってきた野草は、ゆでたり水にさらして下処理が大切です。よもぎも下ゆでを忘れずに、細かく切ってすりつぶし、白玉粉などと混ぜてよもぎだんごを作ります。たくさん作ったよもぎだんごにきな粉やあんをつけて、さあいただきます!

竹下社長ってどんな人?

50年以上の歴史を持つ人気アイス「ブラックモンブラン」を作っている竹下製菓(小城市)の社長を務めています。ものづくりが好きで、佐賀西高校から東京工業大学に進み、東京で就職。2011年に竹下製菓に入り、16年に社長になりました。娘2人、息子1人の子育て中で、『大きな森の小さな家』など子どものころ大好きだった本を読み聞かせています。挿絵などを見て想像を膨らませながら、子どもと一緒に本の世界を楽しんでいます。



佐賀県立図書館
「ココろざしの森」
では、このコーナー
で紹介した児童書
と推薦文を展示
しています!